

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年01月31日

計画の名称	彦根市水害に強い都市づくり（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	彦根市												
計画の目標	彦根市地域防災計画に基づき、一次避難地の機能を有する稲枝地区公園の整備を行うことにより地区の防災機能を向上し、将来にわたり地域住民の安全の確保を目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	635	A	635	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和4年度	中間目標値 令和8年度	最終目標値 令和13年度
1	10人当たり避難地面積を35㎡確保する。 10人当たり避難地面積 公園避難地面積（㎡） / 避難人口（人） * 10（人）	0㎡ / 10人	0㎡ / 10人	35㎡ / 10人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	○
彦根市国土強靱化地域計画 A13-001																

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	彦根市	直接	彦根市	-	-	都市防災総合推進事業	稲枝地区公園整備	彦根市						635	-	
											小計						635		
											合計						635		

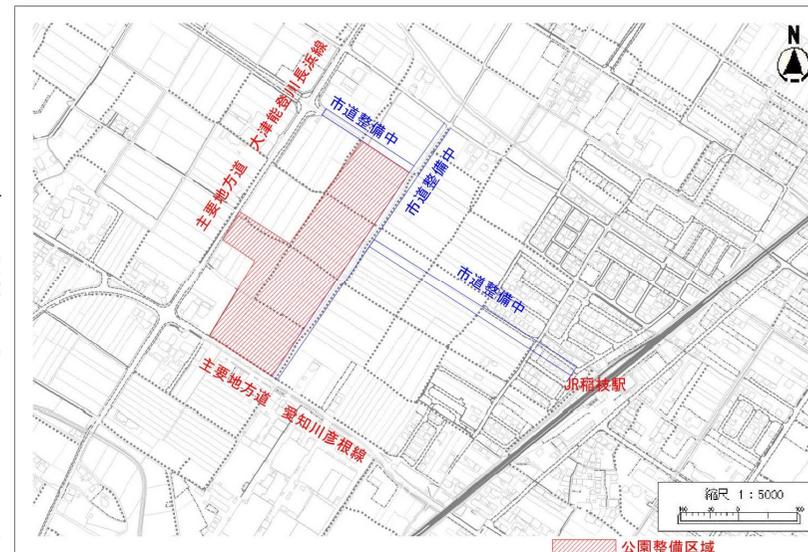
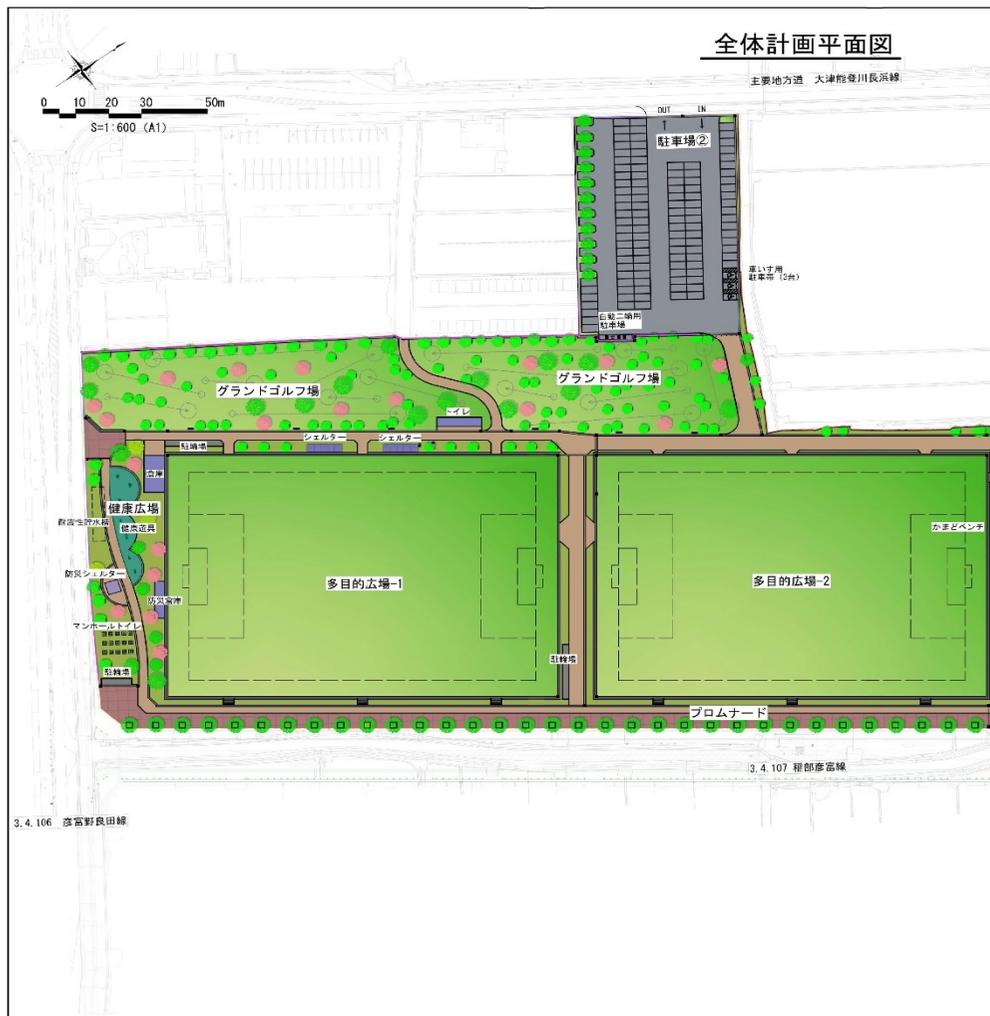
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	14	7			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	14	7			
前年度からの繰越額 (d)	0	14			
支払済額 (e)	0	21			
翌年度繰越額 (f)	14	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(様式6) 現況図 等

地区名	稲枝地区(滋賀県彦根市)	面積	5.01ha	区域
-----	--------------	----	--------	----



図名・発行年度・発行種別	当初	第1回変更	第2回変更	第3回変更
地区名	稲枝地区			
工事名	彦根市彦富町11-9-1			
図名	全体計画平面図			
縮尺	S=1:600(A1)			
図面番号	図ノ内			

彦根市彦富町11-9-1 彦富野長田線

事前評価チェックシート

計画の名称：彦根市水害に強い都市づくり（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○